

市長	副市長	局長	次長	係長	係	記録

【所属名：ガス水道局】

【会議名：糸魚川浄化センター環境保全会議】

開示

一部開示

(理由:条例第 条第 号 該当)

不開示

時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 平成 28 年 6 月 9 日

日	平成 28 年 6 月 8 日	時間	14 : 00 ~ 15 : 40	場所	糸魚川浄化センター 2 階会議室
件名	協議事項 (公開)				
	議事 (1) 報告事項 ① 浄化センター及び公共用水域水質調査等について ② 臭気調査について ③ ホタル育成について ④ 修繕工事について ⑤ 水洗化率について (2) その他				
出席者	【出席者】 13 人 金子(健)会長、見邊副会長、柳委員、岩崎(秀)委員、金子(榮)委員、松田委員、伊藤委員、青木委員、木島委員、比護委員、岩崎(茂)委員、楠田委員、吉田委員				
	【事務局】 8 人 木村局長、山口次長、樋口係長、谷口係長、山岸主査、鍋島主査、小田嶋主査、佐藤主任技師				
	【説明員】 5 人 建設課 五十嵐係長 田中主査 鉄道運輸機構 吉田、下前、五十嵐				
	傍聴者定員	無	傍聴者数	0 人	

会議要旨

- 1 会議開会 (14 : 00) 進行 谷口係長
- 2 会長あいさつ 金子会長
- 3 木村局長あいさつ、事務局及び説明員紹介
- 4 議 事 (議事進行 金子会長)

(1) 報告事項

- ① 浄化センター及び公共用水域水質調査等について

【事務局説明】 浄化センター及び公共用水域水質調査等資料説明

【説明員説明】 新幹線保守基地の造成地に係る暗渠排水 PH 値調整施設設置の説明

<質疑応答>

【委員】PH値調整施設は、中和剤の自動注入のほか、PH数値の記録も自動的に行うのか。

【説明員】自動で行う。

【委員】設置してから、今まで何か異常はあったか。

【説明員】設置してから、PH値の異常値は検出されていない。

【委員】PH値の高い原因は何と想定しているか。

【説明員】原因については、地下水の話なので断定するのは難しいが、機構として想定しているのは、造成したときに強度を上げるために使用した改良剤が雨水等に染み込んでPH値が上がったと考えている。

【委員】田伏上流は、平成15年から既にPH値が、9.0の数値を示している。平成15年には、工事を行っていないので他の原因があるのではないか。

【説明員】もともとの地盤の特有の原因も考えられるが、新幹線保守基地を作った後にこの場所から排出される水に異常値がでている状況であるため、機構の方で対処している。

【委員】特殊な地質が原因でPH値が高くなると予想しているという理解でよろしいか。ほかの所は、高い数値が出ないと考えられるのか、見解を聞きたい。

【説明員】新幹線工事から外れたところの土地の状況は何とも言えないが、新幹線工事を行ったところは、中和装置を設置したので、これ以上のPH値の悪化はないと考えている。

【委員】高架の排水等も佰母川に水が流れ込んできているが、ここの特有の問題として理解してよいということであれば、私たちも安心していられる。

【説明員】通常であれば、PH値は工事により一時的に高い数値が出ても、数年たてば安定してくるものであるが、今回は状況に変化がなかったため恒久的な対策をした。今後は数値が収まってくるものと考えている。

② 臭気調査について

【パトロール委員及び事務局説明】臭気調査資料説明

〈質疑応答〉

特になし

③ ホタル育成について

【事務局説明】ホタル育成資料説明

【委員】今までホタルが繁殖しなかったということはこれからも難しいだろうという考え方もある。しかし、今までは今までとして、もう一回やってみようということで始まっている。これまでホタル舎の中にもカワニナが稚貝を産んでおり、この産まれた稚貝をホタルの幼虫が食べる。この状況でいけば、今年はホタルの幼虫が生息するはずだと見ている。ホタル舎の水路の中にも直接カワニナを入れているとともに、処理水だけの水槽が2つ、用水だけの水槽が2つ、そこにカワニナを入れて2週間程様子を見ているが、今のところどちらも生きており可能性があると考えている。これからの課題は、夏の時期に水温が上がることで、DO（溶存酸素量）が減ることによるカワニナの死滅が一番の心配である。データを取りながら、長い目で見ながら、やってみないとなかなか分からない。また、用水の水を入れているところには、カワニナがいっぱいいるし、ホタルがちゃんと出るかということもやってみたい。そのようなところからホタルを発生させ、処理水の水路にもホタルが広がっていくことを期待していき

い。

【委員】ホタルは、以前の会長の時からの取り組みで、ゲンジホタルを育てて、ホタル祭りをやろうということであったが、結果的にそこまでに至っていない。用水の取り入れ等もしてカワニナの稚魚が出たということは、可能性があると見ている。

【委員】この施設の中でホタルが世代交代をして飛ぶことを目指そうと話をしている。処理水や他の水などを色々試しながら、その中でホタルが生息できるよい環境を見つけたいと思っている。厳しいのは、水路。それ以外にも水辺の周辺環境に上手くないところがある。今年は天気がよいこともあり、乾燥しているためホタルの幼虫が上陸できない。そういった所の改良も必要だし、木や草があるのは、良いが、太陽光が入らないと用水にコケが生えず、カワニナの餌がなくなるので、バランスをとる算段も必要だ。そのような見通しがついてくれば、少なくとも用水が入っているところには、必ずホタルが飛ぶと見ている。処理水と混合したところにもカワニナがおり、カワニナがいれば基本的にはホタルが飛ぶ。周辺の環境を整えるのが大切である。大和川の地区でホタルを育てている場所を見にいつてきたのだが、そこと比べるとトータルバランスがうまくいってないと思われる。

【委員】担当の職員が異動するとホタルのことがわからなくなる。今までも羽化する直前まで幼虫がいたものの飛ばなかったことがあった。どうも水温が原因ではないかと前の指導者は話していた。ここから先が難しく問題もあるのだと思う。

【委員】水辺の環境を整備しないと難しい。もう少し湿らせたり、コケを生やしたりする算段が必要だ。

【会長】事務局の方でもこの委員の意見を聞きながらホタル育成に取り組んでいただきたい。

【委員】現在、浄化センターに市の職員は常駐していない。委託先業者の職員はいるが、その職員の方から1人でも2人でも良いのでこの会議に参加してもらい、ホタルについて情報を共有していただく必要があると思うがどうか。

【委員】委託先業者の職員は処理場の管理はしているが、ホタルの対応については知らない状況である。しかし、これも大事なことと思うので、これから私達と勉強するという立場で仲間に入ってもらえないものかを話をしてみる。

【委員】この件については、要望として是非お願いしたい。

【委員】カワニナの生息数の差の原因は何か。

【事務局】餌が無いのか水路の底の土の状態が良くないのかそこまでの原因はわからないが、たくさんカワニナがいるところは流速が緩やかで底に土が残っている。いない所は流速が早く水路の底に砂利などの石がある状態になっている。

【委員】ホタル舎の中の流速はどうか。

【事務局】ホタル舎の中の流速はほとんどないため、流れを作った方が良いとの指導をもらい、シャワーを付けてみた。

【委員】そこそこ流れているけれど、淀みもあり、砂もいっぱいある。そうすると、餌がでてくる。また、ホタル舎には光が入らず餌となるコケが生えない状態なのでこのあたりの改善が必要。また、ところどころに堰を入れ、水をオーバーフローさせて酸素を取り込み、併せて光も取り込む作業が必要と考えている。この作業ができるのは、7月の中旬まで。ホタルの幼虫が出た後の作業はしない方がよい。

【委員】ホタルが飛び交うような処理水の水質を担保するというで始めた訳なので、処理水の

水質がどうなのか確認する必要があると思うし、もう一つは、他の地域からホタルをもつてくると遺伝子汚染が生じると思うが、そのところはどうかお聞きしたい。

【事務局】他の地区からカワナやホタルを持ってくると遺伝的問題があると委員からも聞いているため、大和川地区でホタルを採取して育成したいと考えている。処理場の水質については、協定値を守っており、最低限この水質を維持していくことがホタルの育成につながると考えている。

④修繕工事について

【事務局説明】修繕工事資料の説明

〈質疑応答〉

特になし

⑤水洗化率について

【事務局説明】水洗化率資料説明

〈質疑応答〉

特になし

(2) その他

【事務局報告】要望をいただいた件だが、これまで処理場内の夜間照明を夜の8時に消灯しているが、ホタルの観察や散歩をする方がいるので、夏の間だけでも1時間又はもう少し長く点けておいて欲しいということであった。今年度は8月のみ消灯時間を1時間延長して午後9時まで延ばすが、ホタルの出る時期である6月から7月上旬位までは7時30分くらいで消灯させていただきたい。

【委員】お願いだが、ホタルが飛ぶのは、メスがオスを見つけるために光を見て探しているからで、照明の光があると飛ばないし、増えない。暗い環境を整えてもらいたい。見る方も暗くないとホタルは見えない。暗闇に目をならしてホタルの光を楽しんでいただきたい。防犯上難しいところがあるので、地域の皆様からも協力をいただく中で安全に楽しめるようにしていただければと思う。

【委員】遊歩道に段差があるので、なんとかならんかという話もあった。

【委員】足元を照らすフットライトがある。光電池式の物もあり、あまり広い範囲を照らさないようにしながら、取り組んでもらいたい。

【事務局】ソーラー式のフットライトを増やして段差のあるところに設置していきたい。また、案内看板が見やすいようにライトをつけて、ホタル観賞がし易いよう環境を整えていきたい。

【委員】蓮池に水を流さない状態が続いている。芽は出るが水連の花は咲かない。ホタルの関係で水が引けないのか、水が少ないから流せないのか教えてもらいたい。

【事務局】蓮池の間に雑草が生え、除草作業が大変になってきており、できたら蓮池をなくしたいと考えている。ホタルの観察の時にも危ないところもあり、池を平らにしたいと考えているので、ご意見をお聞きしたい。

【会長】この点については、今後検討し、決めてもらいたい。